

桜島の警戒が必要な範囲を概ね2 kmに縮小

本日（25日）15時30分に桜島に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）を発表し、警戒が必要な範囲を南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2 kmに縮小しました。

桜島の南岳山頂火口で、本日（25日）01時09分に爆発が発生し、監視カメラの映像により、同火口から火砕流が南西側に約1.8 km流下したと判断しましたが、午前中、気象庁機動調査班（JMA-MOT）が実施した現地調査では、南岳の斜面に火砕流が流下した痕跡は認められず、南岳山頂火口周辺の状況に特段の変化は認められませんでした。このため、火砕流としていた現象は、噴煙の一部が強い東風に流されて南岳の斜面に沿って流下したものと考えられます。

このことから、本日（25日）15時30分に桜島に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）を発表し、警戒が必要な範囲を南岳山頂火口及び昭和火口から2 kmを超えた居住地域近くから、南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2 kmに縮小しました。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。

爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

問合せ先：地震火山部 火山監視課 中村

電話 03-3434-9119

FAX 03-3434-9044